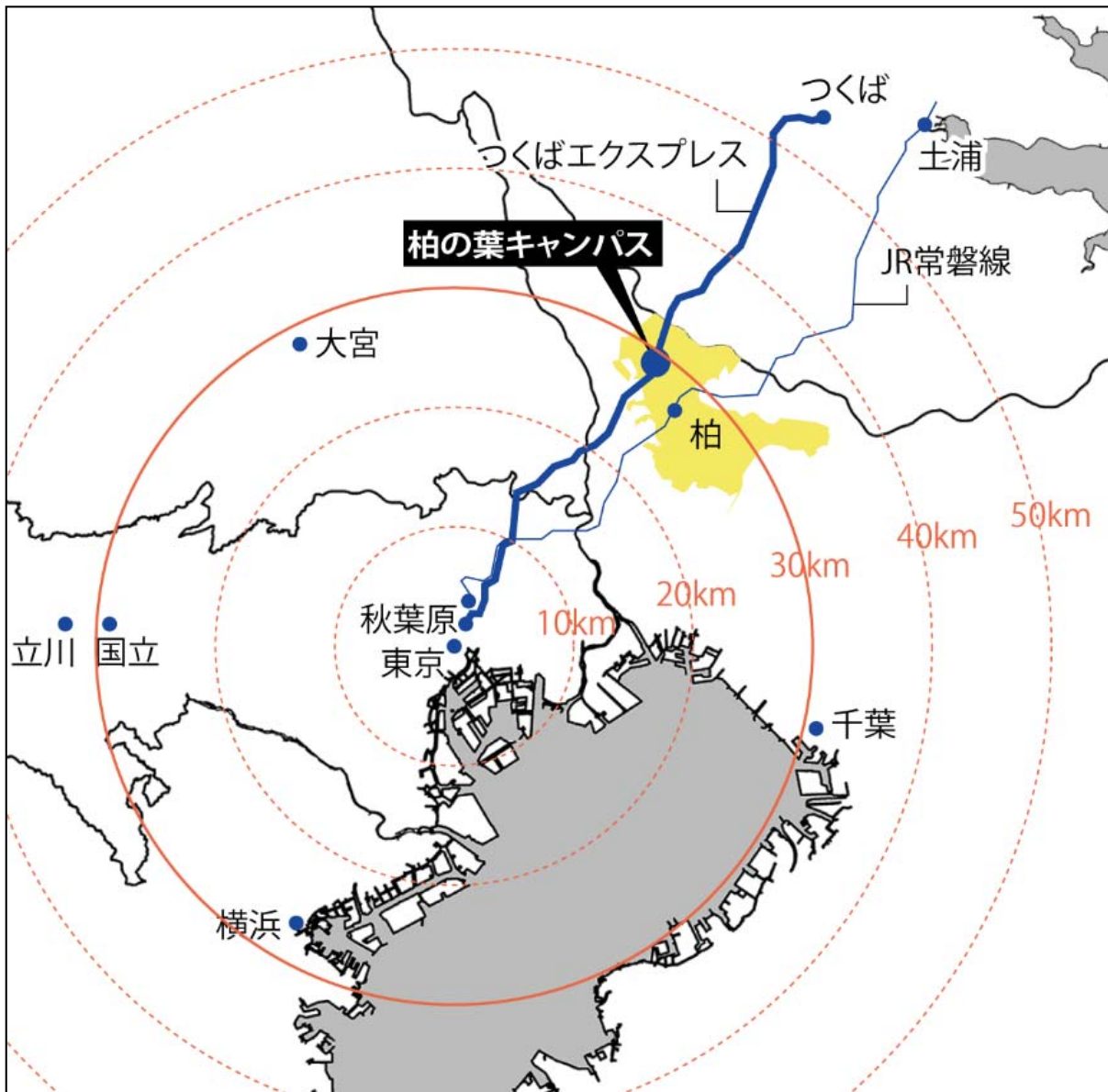


第6回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム
分科会4 公共空間デザインによるまちの賑わい創出

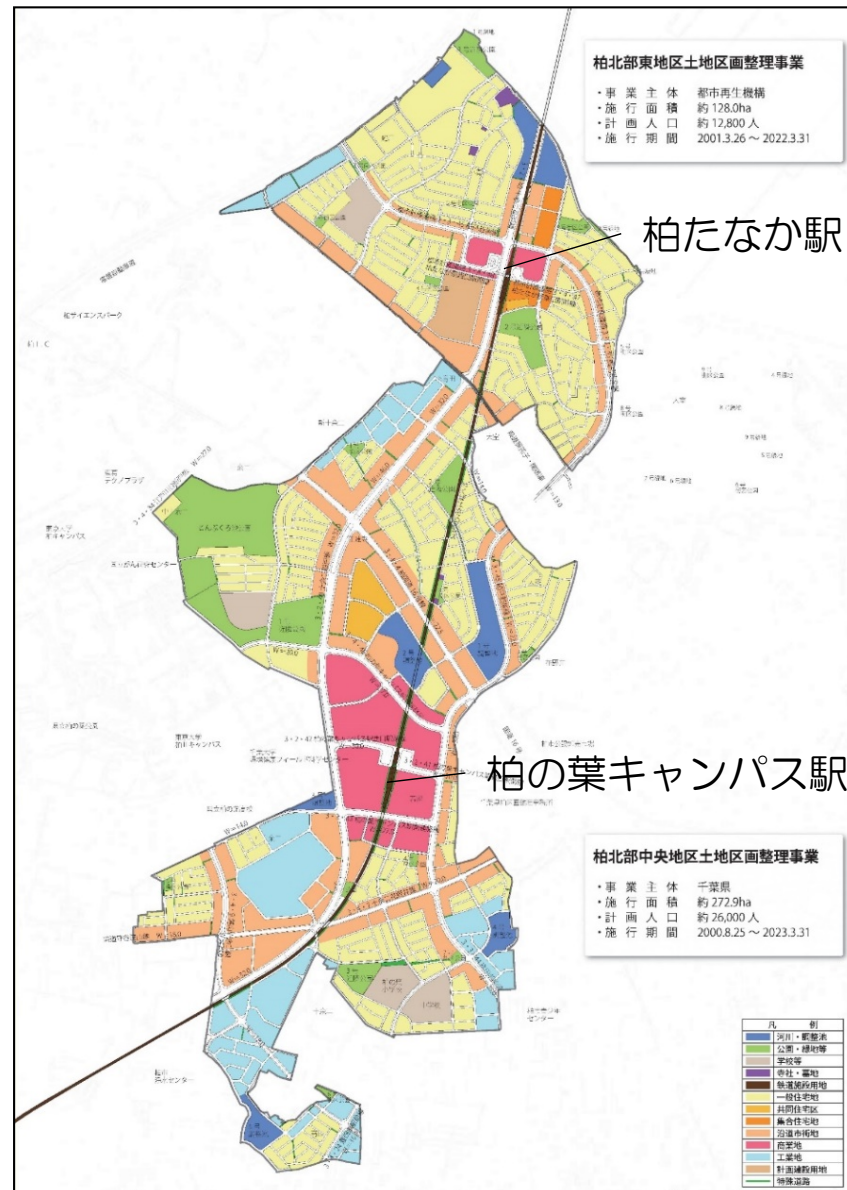
柏の葉キャンパス地区における公共空間のデザインとマネジメント

柏市 都市部長 南條洋介

柏の葉キャンパス地区の概要



- 柏市北部に位置する柏の葉エリア
- 東京から30キロ圏
- 2005年8月に開通したつくばエクスプレスで秋葉原まで30分



- 鉄道整備と土地区画整理事業を一体的に実施
- 柏市内の2駅周辺で進む区画整理は合計約400ヘクタール、計画人口4万人弱

柏の葉キャンパス地区 2004年頃（鉄道開通直前）



県立柏の葉公園

東京大学

常磐自動車道 柏IC

十余二工業団地

政府系研究所

こんぶくろ池公園

柏の葉高校

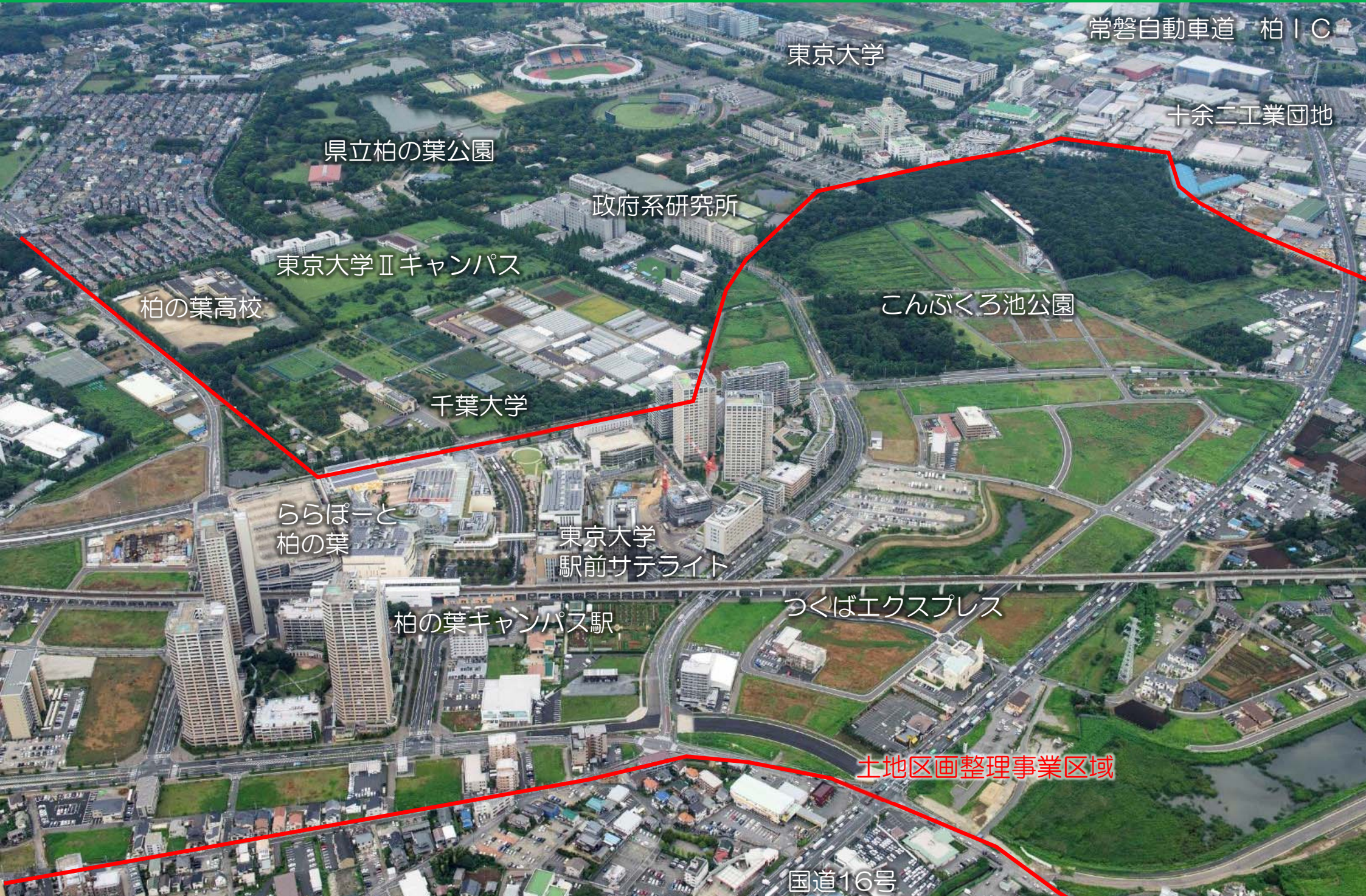
千葉大学

つくばエクスプレス

土地区画整理事業区域

国道16号

柏の葉キャンパス地区 (2015年)



新たなスキームで取り組む2つの事例

柏の葉キャンパス駅西口

- 駅前街区開発にあわせた駅前空間の高質化
- 都市活動の場となる駅前空間の提案
- 国の規制緩和措置の活用
- 地元組織による歩道部と植栽の管理運営

2号調整池

- 周辺街区の価値向上と土地利用の牽引を目的とした調整池の高質化
- 多自然化に加えて、憩いや交流を生み出す水辺を創出
- 地元組織による調整池の管理運営



- 駅前街区開発と一体となった駅前道路高質化
- 都市の空間軸が交わる駅前広場のシンボル性向上と、生活・交流空間となる街路の創出

コンセプト 「ストリートライフのあるまち」

- ▶自転車専用道整備（自転車と歩行者の分離）
- ▶舗装の高質化
- ▶くつろぎスペースの整備
ウッドデッキ＋オリジナルファニチャー＋照明（都市再生特措法）
- ▶利用のためのインフラ整備（電気・水道）

- ▶高木・低木植栽の充実
（駅前広場における緑の大屋根）
- ▶シンボルサインとバナー整備
（都市再生特措法）

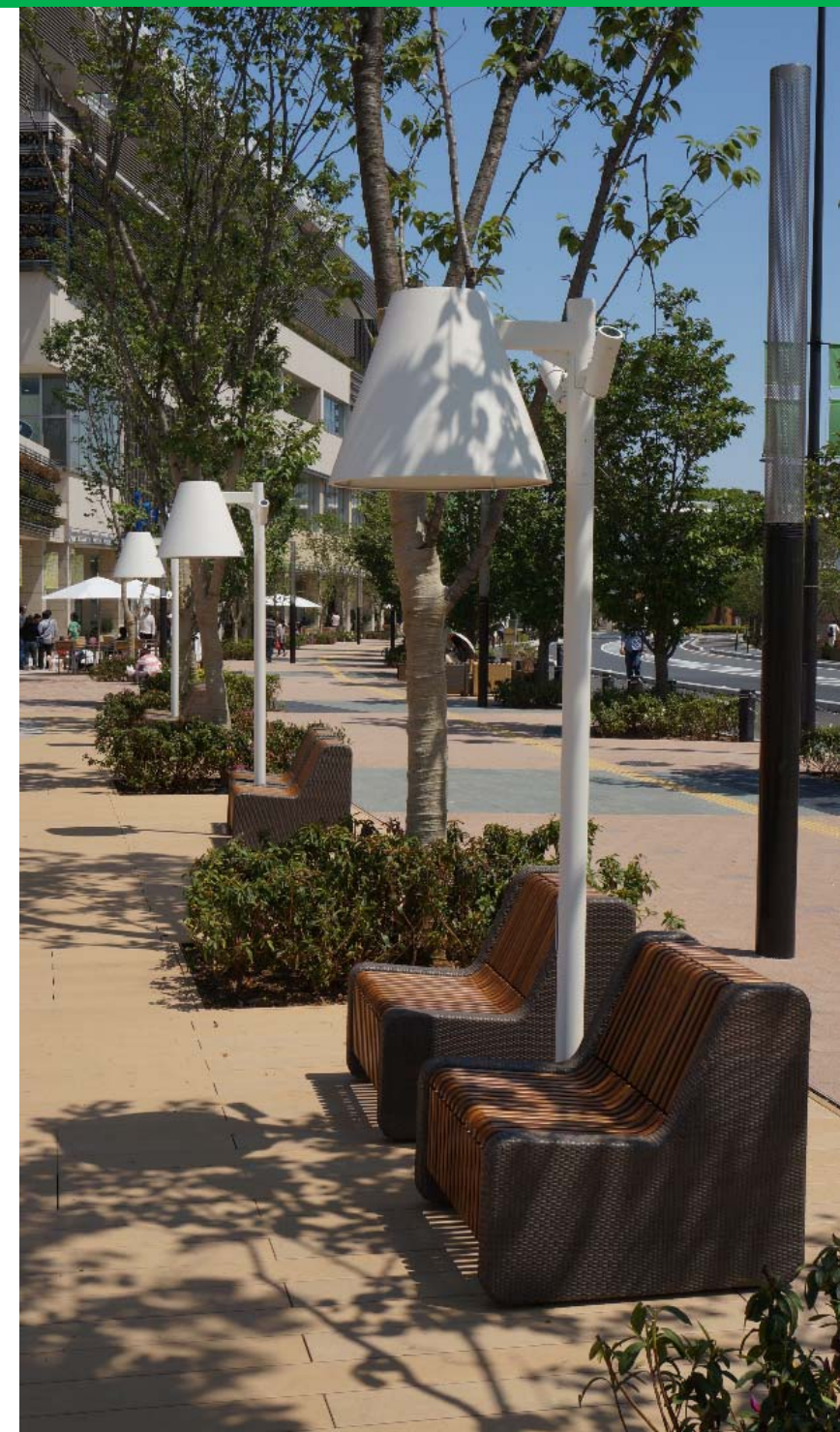
柏の葉キャンパス駅西口 憩いの場となっている街路空間



柏の葉キャンパス駅西口 高木とシンボルサインによる象徴的な景観創出



柏の葉キャンパス駅西口 規制緩和により設置したウッドデッキとオリジナルベンチ



都市再生整備計画 （柏市）

- 道路占用の特例措置を活用し、オリジナルベンチやサインの設置を許可
- 独占的に維持管理を担う地元組織（UDCK）を都市再生推進法人に指定

※UDCK：柏の葉アーバンデザインセンター

- 2006年に設立された柏の葉のまちづくり推進機関（センター長 出口敦 東京大学教授）
- 柏の葉のまちづくりにかかわる公共・企業・市民・大学等で共同運営
- 駅前に拠点を構え、ハード・ソフトにわたる多様なプロジェクトを企画・コーディネート

道路維持管理協定 （柏市－UDCK）

- 植栽含む高質化部分の維持管理はUDCKが負担して実施
- イベント等での道路占用を柔軟に許可し収益を維持管理に充当可能

費用負担協定 （UDCK－沿道地権者）

- UDCKの負担は道路利活用に係る収益を限度とする
- 残りの負担は高質化工事を行った沿道地権者が負担する

UDCKを中心に、
市民や企業と連携した地元主体の維持管理活動や各種イベント等を実施

柏の葉キャンパス駅西口 マルシェ（イベント）の様子



- 計画当初は「多自然化」というコンセプトはあったが、人が入れる空間ではなかった。



- まちづくりの進展に伴い、調整池を中心とする地区を企業誘致等の重点エリアに設定（2014.3）
同時期に、調整池に隣接する敷地に「T-SITE」の立地が決定。
- 地区の魅力を高め、土地利用をけん引する中核的な空間資源として2号調整池を捉えなおし、周辺地権者負担で調整池の高質化（都市的な親水空間化）を実施。

コンセプト 「賑わいと交流が溢れる自然豊かなまちのオアシス」

- ▶外周における歩道空間の拡張 植栽とデッキ、ベンチ等による憩いの空間
- ▶南角の広場空間の整備
- ▶フェンスの高質化
- ▶水辺に降りる階段・スロープの新設、ブリッジやステージなど、水辺の回遊空間整備
- ▶北側法面におけるベンチやテラスの設置
- ▶従来の植生を生かした水辺の植栽 等



2号調整池 賑わいと交流を生み出す水辺空間のイメージパース

